

校内研修「図書館活用研修①②」

① 教職員全体研修 ② 若プロ（図書館活用実践編）

2022年5月に校内研修で教職員対象の図書館活用研修を実施し、その内容を受けて、7月には教員採用10年目までの職員を対象に、個別に校務用パソコンを持参し、図書館で実践編の研修を行った。

① 図書館活用研修の内容

- ・白山市学校図書館・学校図書館支援センターの概要
- ・白山市教育委員会の学校図書館に関する重点目標
学校図書館法、学習指導要領の中の学校図書館
- ・授業での学校図書館活用事例（導入・中盤・終末）
白山市内中学校での各教科図書館活用事例
- ・学校の中で、著作権について気を付けること

② 図書館活用研修（実践編）の内容

- ・前回のおさらい
- ・情報・メディアとは？
本とインターネットの長所・短所
- ・（演習）著作権に配慮しながら、レポートを作成
*本とインターネットを使用して、引用・要約・参考文献の演習



< 1回目の研修終了後の職員の感想 >

「授業の導入・展開・終末といった具体的な場面で、どのように図書館の本を活用できるのかを知ることができて、勉強になりました。また、タブレット端末を使用する機会も増え、著作権についての注意点も再確認できてよかったです。」

「数学の授業の中での図書館の利用を考えていきたいと思いました。また総合や学活の中での利用についても、現在の指導だけでなく3年間を見通した指導を考えていかなければいけないと感じました。」

「実践編」で工夫した点

- ・本とインターネットを使用すること
- ・簡単にコピーしてしまいがちなインターネットの画像や統計を著作権に配慮しながら添付してみることで、何に気を付けて授業で使用していたらよいのかに気づいてもらえるようにしたこと。

レポート作成手順

1. SDGsの本を使って、「SDGs 17の目標から調べる目標を1つ選ぶ」
2. 本の言葉を「引用」・要約をして、まとめる。



令和4年度白山市教育委員会指導の重点
①学校図書館教育の充実
②学校図書館や学校図書館支援センターを活用した授業実践
★様々な学力育成のための調べ学習や教材に関連する図書活用の充実

1、重点：★確かな学力の育成のための調べ学習や読書指導の充実
※白山市の「強み」を伸ばす

(1) 調べ学習の充実について
資料・情報をもとに、疑問に対する自分の考えをまとめる力を育成する。
・児童主体の白山市図書館を使った調べ学習コンクールへの出品へつなげる。

(2) 読書指導の充実について
・単元に関連する図書を読む指導の推進（教材に関連した図書の紹介等）
・単元を通じた読書活動による「読むこと」の指導の充実

自分の課題を解決させたい

わかりやすく伝えるための表現力を高める

3. 終末

学んだことの内容理解を確かめ、発展的課題へつなげたい

1～3年 保健体育レポート作成

授業内容 保健体育
1年 ダンボールダンボールロボット作成(計3時間)まのめ
2年 自然観察レポート作成(計3時間)本とインターネット
3年 総合(計3時間)本とインターネット
※本とインターネットを併用して調べ学習を行う。資料・情報をもとに、疑問に対する自分の考えをまとめる力を育成する。
※単元に関連する図書を読む指導の推進（教材に関連した図書の紹介等）
※単元を通じた読書活動による「読むこと」の指導の充実

図書館にタブレットを持って来て、本とインターネットを使用して調べる

各教科の授業の中で、教科書や資料をもとに調べ学習を行い、調べた内容をレポートにまとめる。レポート作成の内容をレベルアップさせながら、行っている。
※先生一人一人だけでなく、教員間で統一して行っている。

< 2回目の研修終了後の職員の感想 >

「ひとつの情報を引用するだけで、こんなにも手間と時間がかかるのかと驚きました。簡単に引用といっても本当にひとつひとつ気をつけなければならないことが多く、自分がしっかりと理解しないと生徒に正しく伝えて指導することができないかと改めて思いました。」

「そのデータがどこから来ているものなのか明らかにするという思考回路があまり自分の中になかったので、授業でも気を付けたいと思いました。インターネットで調べたことが本当に信頼性があるものなのかは、そのソースを辿らないと生徒の前では言えないと感じました。生徒に調べさせる時にも気を付けさせたいと思います。」